

(1) 「展覧会を準備してます、展。」(岐阜県美術館・展示室2) においてライブ配信の展示実験

2024年2月から3月にかけて、明治時代に山本芳翠が描いた《琉球漁夫釣之図》と現在の沖縄・辺野古の映像と音響をリアルタイムのオンライン配信と並列して展示する実験を行った。

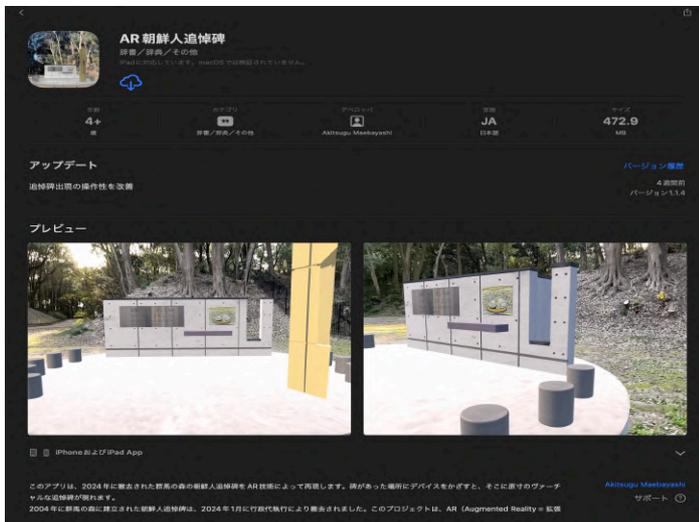


## (2) 《AR 朝鮮人追悼碑》(2024) の制作と公開

2024年2月から10月にかけて、2024年に撤去された群馬の森の朝鮮人追悼碑をAR（Augmented Reality = 拡張現実）技術によって、同じ場所に再現するプロジェクトを立ち上げた。追悼碑があった場所にデバイスをかざすと、そこに原寸のヴァーチャルな追悼碑が現れるアプリを制作した。（共同制作者：白川昌生、伏田昌弘）

作品の詳細については、以下のリンクを参照ください。

<https://sites.google.com/view/gunmanomori?pli=1>

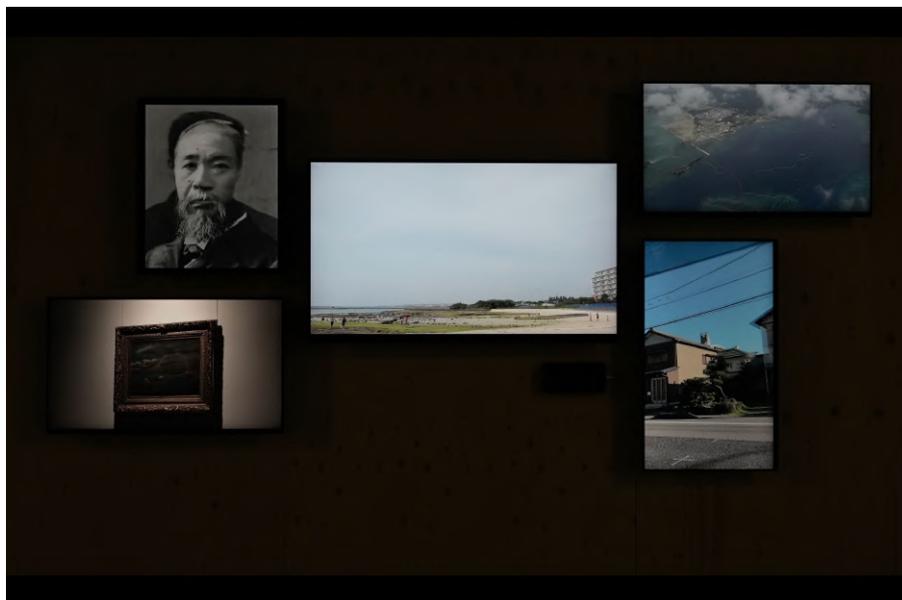
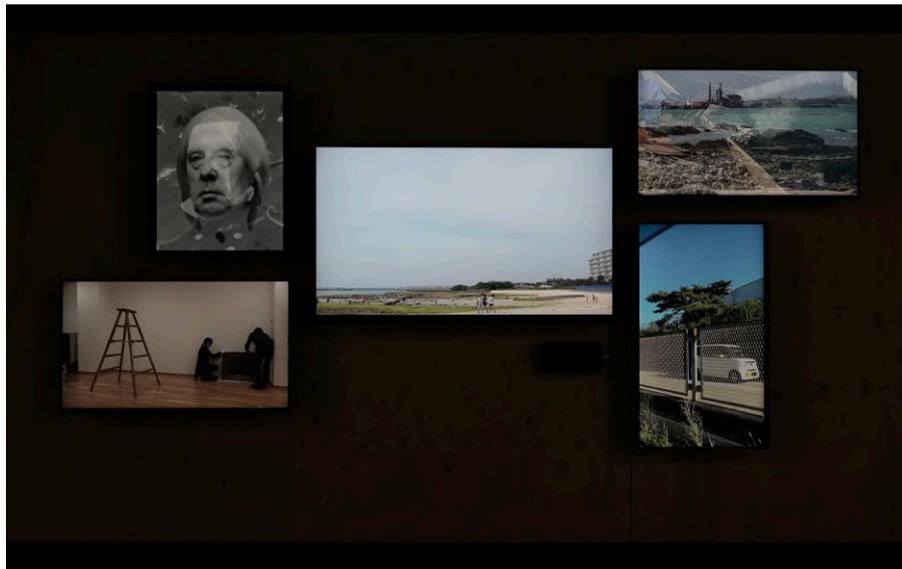


(3) 『「清流の国ぎふ」文化祭 2024 DX時代のメディア表現——新しい日常から芸術を思考する』に参加

『「清流の国ぎふ」文化祭2024 DX時代のメディア表現——新しい日常から芸術を思考する』に参加し、作品《場所をつくる旅 2024》を出品した。

作品の詳細については、以下のリンクを参照ください。

<https://sites.google.com/view/basho2024>



#### (4) 《これからの創造のためのプラットフォーム》のアーカイブ

<https://www.sozoplatform.org>

2014年度に開始したプロジェクト《これからの創造のためのプラットフォーム》では、アート、デザイン、思想、暮らし等の様々な領域の実践者の知見に触れながら現代社会の課題を考察し、思考の可動域を広げ、これからの時代の「創造」についてレクチャーを開催し、アーカイブ化した。

### これからの 創造のための プラットフォーム



からだの錯覚  
小鷹研理



狩猟採集民と動物とアート  
山口未花子



Talk with Vincent Moon  
ヴィンセント・ムーン



人・音・織・機  
末松グニエ文 伊藤 悟



フィールドの音を録る  
柳沢英輔



映像人類学講義I, II  
川瀬 慈

(5) 《OKINAWA NOISE MAP》のアーカイブ

<https://www.okinawa.noisemap.jp>

2012年から沖縄の米軍基地周辺の騒音を立体音響技術によって録音し、再生する活動を続けてきた。2016年にこれまで収録された騒音を地図上にマッピングし、ウェブ上で公開している。(協力：IAMAS OB 松野峻也、具志堅裕介)

